

☆新しく入った本☆

<一般書>



『流人道中記 上、下』 浅田次郎:著

姦通の罪で奉行所に切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱者を決して見捨てぬ心意気があり…。

『流浪の月』 凧良ゆう:著

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。

2020年 本屋大賞！

『暴虎の牙』 柚月裕子:著

平成16年、懲役刑を受けて出所した沖が暴走を始めた矢先、かつて大上の薫陶を受けた呉原東署の刑事・日岡が沖に接近し…。『孤狼の血』シリーズ完結編。

『クスノキの番人』 東野圭吾:著

解雇された職場に盗みに入り逮捕された直井玲斗は、弁護士費用を支払ってくれた伯母から、クスノキの番人をするように命じられる。そのクスノキに祈れば、願いが叶うと言われていて…。

『東京ホロウアウト』 福田和代:著

オリンピック開催間近の東京で、道路を狙ったテロが発生！分断される道路、届かない食料、回収されないゴミ。物流のプロ、長距離トラックドライバーたちが東京を救うため立ち上がる！

ほか

『野菜の植え合わせベストプラン』 『十字架のカルテ』/知念実希人

『考えなくていい冷凍作りおき』 『夜がどれほど暗くても』/中山七里

<児童書>



『あっくんとデコやしき』

たろいしほこ 垂石真子/え やおいた ようこ 八百板洋子/ぶん

いもうと 妹が生まれてから手伝いをたのまれてばかりのあっくん。その日も父 さんに弁当をとどけるようなたのまれ、イライラしながら「デコやしき」へむかい…。 福島県三春町にある民芸工房をぶたいに描く。

『きょうりゅうたちのお一つとあぶない』 マーク・ティグ/え ジェイン・ヨーレン/ぶん

お一つと、あぶない！ああ、こわかった…。げんきいっぱいのおきょうりゅうたちには、ひやっとするしゅんかんもいっぱい。どうやったらあんぜんにたのしくあそべるかな？

『ちょきんばこのたびやすみ』 村上しいこ/さく

ぼくのちょきんばこが、おなかにはいっているお金で日本一周したいと言いだした！ただそれではお金が足りなくて、…。

『コトノハ町はきょうもヘンテコ』 ひるた みつこ さく 屋田弥子/作

ことわざや慣用語などのことばどおりのことが起こるコトノハ町。そんなちよっぴりヘンテコな町にすむ、小学生レンちゃんのゆかいなお話。

『まっしょうめん! [3]』 あさだ りん/作

かつての親友レオナと、同じチームで大会に出ることになった成美。トラブルを起こして転校したレオナと成美の、試合と友情のゆくえは…。心と体にむかいあう、さわやか剣道小説。

ほか

『かんたん!おいしい!フォトジェニック・スイーツ [1]～[4]』

『めんどくさがりなきみのための文章教室』

『オーバーロード 14』